



# 道標

みち

しるべ

2013/12/12  
NO. 83

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

## 《12月三者相談会 最終日》

今日で三者懇談会は終わりです。願書の下書きもどんどん進んでいるようです。しかし、提出前に必ず「書きもらしはないか」「書き間違いはないか」などを確認してください。

担任の先生のチェックが終わった人から、清書に入ります。丁寧に書きましょう。

### 進路担当より


願書の清書に際しての注意点は『道標』

NO.81に書いてありますが、特に間違いやすい点を以下に書きます。しっかりと読んでください。

- ① 下書きの上から、清書をすること。
- ② 切手、写真はまだ貼らないこと。
- ③ 受験代はまだ振り込まないこと。
- ④ 印鑑は、朱肉を使うものを押すこと。  
(スタンプ式のは×)
- ⑤ 間違えたら、**黒二重線**で印鑑を押すこと。

市立

(尾張旭市立東中学校)

印鑑は普通の大きさのもの→

※ じっくりゆっくりといねいに書きましょう。

## 《明日 面接講座》

明日は午前中に時間割を変更して面接講座を行います。もう、各学級で面接学習を進めているので、その確認の意味もあります。

私立、公立にかかわらず、必ず全員面接をすることになるので、正確な立ち振る舞いを学びましょう。入試だけでなく、将来にも役立つ内容です。



## 《願書とは…》

「願書」とは…

「願いを込めて書く。」だから、願書という。

私が学生だった頃、こんな話を聞いたことがあります。確かに、そうだなと思います。みんなが書いた願書は担任の先生が丁寧にチェックしています。そして、間違いや不備があれば、付箋でメモをしています。そのチェックには、みんなの願いを叶えさせたいという思いがあるから、地道に行っているのです。

だから、「願書」には、受験者だけでなく、いろいろな人の願いがこもっているものなのです。

「願書」というものの重みを感じて、清書していきましょう。



## 《進路の豆知識⑬》

### ～気持ちの持ち方～

今から「でも」はじめる

→何かをはじめるのに、遅すぎると言うことは何もない「いまからじゃもう遅いな」「もっと前からやっておけばよかったな」と考えてしまうことがあります。今のみんなで言うと勉強があてはまるかもしれません。

でも、「遅い」と言うことは何を基準にしているのでしょうか。勝手に自分で思い込んでいるだけではないでしょうか。

どうしてもやらなければならないと感じたのなら、そこからスタートで良いのです。気持ちの持ち方一つで変わることはいくらでもあります。

さあ、今から「でも」はじめましょう。

